

《競技注意事項》

この大会は、2021年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則と本大会要項ならびにオホーツク中体連大会規定、監督会議の申し合わせ事項により実施する。

1. 招集

- (1) **競技者本人は**、出場種目の出欠確認終了時刻までに**器具庫横**の招集掲示板にて、出場各種目一覧にアスリートビブス（ナンバーカード）に○印をつける。棄権の場合は×印をつける。出場種目の時間帯が重なっている場合は、○印の他に重なっている種目名も記入する。また競技者係に2種目同時届を提出すること。その後、スタート地点集合完了時刻及び試技地点完了時刻までにスタート・試技場に移動し、出発係及び跳躍・投てき審判員に出場する種目・組・レーン（試技順）の点呼（確認）を受ける。混成競技者も同様にスタート・試技場において係から点呼を受ける。点呼を受けた後は、スタート・試技場で待機し、勝手にその場を離れてはならない。移動は係の指示に従う。
- (2) スタート地点集合完了時刻及び試技地点集合完了時刻は、次の通りとする。
*トラック競技の決勝のみの種目については、競技日程を確認すること。

	ラウンド	予選		準決勝・決勝
トラック競技	競技開始時刻	1～4組	20分前	10分前
		5～9組	5分前	
フィールド競技	走幅跳	競技開始時刻		30分前
	走高跳・砲丸投・円盤投・ジャベリックスロー	競技開始時刻		30分前
	棒高跳	競技開始時刻		40分前
混成競技	競技開始時刻	トラック10分前・フィールド15分前		

- (3) 出欠確認終了時刻に遅れた者の出場は認めない。
- (4) 競技進行上、競技開始時刻に多少の変更もあり得るのでアナウンスを聞き漏らさないよう注意すること。
- (5) 各種用紙は、競技者係に備えている。（**器具庫内**）
リレーのオーダー用紙は、各ラウンドのスタート地点集合完了時刻の1時間前までに競技者係に提出する。
- (6) アスリートビブス（ナンバーカード）は縫いつけるか安全ピンで確実に止めること。（跳躍競技については、胸部または背部のいずれか为好い）
- (7) トラック競技の出場者は招集の際、出発係より腰ナンバーカード（シール）を受け、ランニングパンツの右腰や後方に取り付ける。はがれるおそれがある場合は、安全ピンで確実に止めること。（その場合の安全ピンは出発係から受け取る。競技後、出発係に返却すること）

2. レーン・競技順

- (1) プログラムの記載の上から下へ番号順とする。ただし、四種競技は種目ごとに試技順が違うのでプログラムで確認すること。
- (2) トラック競技の決勝レーン順のみ、番組編成員で公平に抽選し本部棟横に設置した記録掲示板に掲示する。またアナウンスを聞くこと。

3. トラック競技

- (1) タイムにより次のラウンドの出場者を決める際に、同成績者がある場合はTR21.2を適用する。
- (2) 本大会のスタートについては、TR16.5を適用せず、不適切行為を注意とする。但し、不適切行為が繰り返し行われたり、悪質なものはCR18.5ならびにTR7.2を適用する。
- (3) 写真判定のための腰ナンバーカード（シール）を使用するが、リレーの場合は、第4走者のみとする。

4. フィールド競技

- (1) 走高跳・棒高跳・走幅跳・砲丸投・円盤投
 - ② 記録については、試技の1本目は計測するが、2本目以降計測ラインに満たない場合は計測しない。
 - ③ 第1位が2名以上の場合、順位決定のバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cm単位とする。

種別	種目	計測ライン・開始の高さ	練習	試技開始・バーの上げ方
男子	走高跳	1 m 2 0	1m15-1m25-1m35	1m30～1m50までは5cm上がり、以降3cm上がり
女子	走高跳	1 m 1 0	1m05-1m15-1m25	1m10～1m35までは5cm上がり、以降3cm上がり
男子	棒高跳	1 m 6 0	1m60-2m00-2m40-2m80	1m60～2m20までは20cm上がり、以降10cm上がり
男子	走幅跳	3 m 5 0		
女子	走幅跳	3 m 0 0		
男子	砲丸投	5 m 0 0		
男子	ジャベリックスロー	2 0 m 0 0		
女子	ジャベリックスロー	1 5 m 0 0		

(2) 混成競技

- ① 走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。
- ② 最終種目は、それまでの成績順により番組編成を行う。(出場人数による)

種別	種目	計測ライン・開始の高さ	練習	試技開始・バーの上げ方
男子	混成・走高跳	1 m 1 5	1m10-1m20-1m30	1m20～1m50までは5cm上がり，以降3cm上がり
女子	混成・走高跳	1 m 0 5	1m00-1m10-1m20	1m05～1m35までは5cm上がり，以降3cm上がり
男子	混成・砲丸投	該当しない		
女子	混成・砲丸投	該当しない		

(3) 助力

- ① 競技場内での助力は一切禁止とする。コーチングエリアからの助言については該当種目の競技役員の指示に従い、競技運営や他の競技者の競技の妨げにならない範囲で認める。なお、映像機器を競技者に見せることはできない。

5. 競技について

- (1) 競技者・監督といえどもその競技に出場する者以外は競技場内に入ることはいない。
- (2) 短距離走では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーンに沿って走り、前後左右の安全を確認してからレーンを出ること。
- (3) リレー競技のマーカー使用は1箇所とする。使用したマーカーは、そのチームで処理する。
- (4) リレーチームの編成メンバーについては、TR24.10〔国内〕を適用する。
- (5) 棒高跳の競技者は自分の希望する支柱の位置を練習のときに担当審判員に申し出ること。
- (6) 抗議と上訴については、TR8に従い、監督が総務(専門委員長)を通じて行う。

6. 競技用具について

- (1) 競技に使用する用具器具は、棒高跳のポール以外全て主催者が準備したものを使用しなければならない。
- (2) 個人使用のポールは、検定を受けて合格したもののみ使用できる。ポールの検定は棒高跳ピットで跳躍審判員が行う。

7. 練習について

- (1) アップについては、指定された場所以外は使用しないこと。ゲートを出て競技場周辺で行ってもよいが、競技役員やアナウンスの指示にも従うこと。
- (2) ホームストレート競技の際、バックストレートや外側走路を使用してもよいが、競技役員やアナウンスの指示に従うこと。

8. 服装・競技用靴について

- (1) 服装(ユニホーム)
 - ① 競技の服装は清潔であり、かつ競技に適したものとする。
 - ② リレー競技については、同一のものとし、ランニングパンツ又はハーフタイツのどちらかに統一すること。
 - ③ 身だしなみ(髪型、染色、脱色、ピアス等)については各学校で十分に指導すること。(特別な事情がある場合、顧問が説明できること。)
 - ④ アクセサリー(ネックレス等)類は身につけないこと。ハチマキのみとする。
- (2) スパイク・シューズ等
 - ① 競技用靴の靴底及び踵は、11本以内のスパイクを取り付けられる構造とする。11本以内であれば何本でもよい。
 - ② スパイクの長さは9mmを超えてはならない。また走高跳の場合は12mmを超えてはならない。
 - ③ 靴底についてはレース及び試技終了後、規定外でのシューズの使用が確認された場合、失格になることがある。

9. 表彰

- (1) 各種目の8位までの入賞者に賞状を授与する。(表彰式は行わない。本部棟1階に賞状置き場を設置するので各校顧問が受取りに来ること)また、優秀選手を男女選出する。ただし競技結果によっては該当しない場合もある。

10. その他

- (1) 選手に事故があった時などは、大会本部に連絡すること。
- (2) 開錠は両日とも午前7時30分とする。この時間前に競技場内に入らないこと。
- (3) スタート及びフィニッシュ付近の芝生での応援は禁止とする。各校テント付近で応援すること。

- (4) 応援は声援ではなく、拍手または手拍子とする。
- (5) 貴重品については各学校が管理し、盗難にあっても責任は負いかねるので注意すること。
- (6) 携帯電話その他類似の機器を競技場内で所持及び使用することを禁止とする。
- (7) 大会中は、ゴミの持ち帰り、テント跡の清掃を必ずすること。
- (8) 万一事故が起こった場合、応急処置までの用意はあるがそれ以上の場合は各校の負担で処置願います。
- (9) オホーツク陸協の決定事項により、本大会は無観客大会です。一般及び保護者の方の競技場周辺での観戦はご遠慮ください。大会関係者は、「大会関係者プレート」を所持していただいています。